

食品安全委員会の1月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第221回 1月10日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(1品目)	オキシリニック酸
---------	----------

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- ・専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会	メフェナセット
---------	---------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関へ通知

農薬(3品目)	インダノファン、ジチオピル、プロモブチド
動物用医薬品(4品目)	グリチルリチン酸モノアンモニウム、グリチルリチン酸モノアンモニウムを有効成分とする牛の乳房注入剤(マストリチン)、孵化を目的としたニシン目魚類のブロンポールを有効成分とする魚卵用消毒剤、豚サーコウイルス(2型・組換え型)感染症(カルボキシビニルポリマーアジュバント加)不活化ワクチン(インゲルバック サーコフレックス)
遺伝子組換え食品等(1品目)	GR-No.1株により生産されたグアノシンを原料として製造された5'-リボヌクレオチド二ナトリウム(5'-イノシン酸二ナトリウム及び5'-グアニル酸二ナトリウムの混合物)

- (4) 国際獣疫事務局(OIE)によるBSEステータス評価に関する我が国のコメントについて農林水産省から報告
- (5) 牛海綿状脳症疑似患者の見直しについて農林水産省から報告
- (6) BSEの感染源及び感染経路に関する調査について農林水産省から報告
- (7) 平成20年度食品安全モニターの募集(案)について説明
- (8) 平成20年度食品安全委員会予算(案)の概要及び組織・定員要求の結果について報告
- (9) 食品安全委員会の12月の運営について報告

第222回 1月17日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(5品目)	オリサストロビン、クロチアニジン、ジクロシメット、テフリルトリオン、オキサジアゾン
動物用医薬品(4品目)	鶏のサルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフィムリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン(“京都微研”ポールセーバーSE/ST)、硫酸セフキノムを有効成分とする牛の注射剤(コバクタン/セファガード)、フルニキシメグルミンを有効成分とする牛の注射剤(フォーベット50注射液)、ふぐ目魚類用フェバンテルを有効成分とする寄生虫駆除剤(マリンバンテル)

- (2) 各専門調査会における審議状況についての報告
- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会	エトキサゾール
農薬専門調査会	カフェンストロール

(3) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関へ通知

農薬(4品目)	エスプロカルブ、シエンピラフェン、シラフルオフエン、ピリフタリド
---------	----------------------------------

(4) 食品安全委員会自ら行う食品健康影響評価について

- 企画専門調査会において自ら評価案件候補として選定した「食品（器具・容器包装を含む）中の鉛に関する食品健康影響評価」について、委員会としても適切であると、自ら評価として決定する前に、意見交換会を実施することを決定

(5) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成19年12月分）について報告

第223回 1月24日（木）

(1) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

動物用医薬品専門調査会	プロチゾラム、プロチゾラムを有効成分とする牛の注射剤(メデランチル)
-------------	------------------------------------

(2) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品及び飼料添加物(1品目)	コリスチン
--------------------	-------

第224回 1月31日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等(2品目)	Streptomyces violaceoruber (pNAG)株を利用して生産されたキチナーゼ、WHS株を利用して生産されたL-セリン
----------------	---

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会	L-グルタミン酸アンモニウム
農薬専門調査会	ベンゾピシクロン
農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会	オキシリニック酸

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関へ通知

添加物(1品目)	ナイシン
農薬(1品目)	フルベンジアミド

(4) 牛の生理学的成熟度に関する追加報告について農林水産省から報告

(5) 食品安全モニターからの報告（平成19年12月分）について報告

2 専門調査会の運営

(1) リスクコミュニケーション専門調査会

第35回 1月18日（金）

- ・リスクコミュニケーションの検証について審議
- ・地方公共団体との協力について審議
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションの取組について報告

(2) 添加物専門調査会

第53回 1月15日（火）

- ・①「亜塩素酸水」、②「L-グルタミン酸アンモニウム」及び③「ウッドロジングリセリンエステル」について調査審議し、②に関しては、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(3) 農薬専門調査会

第34回 幹事会 1月18日（金）

- ・①「オキシリニック酸」、②「フルベンジアミド」及び③「ベンゾビシクロン」について調査審議し、①及び③に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第18回 総合評価第二部会 1月18日（金）※非公開

- ・①「インドキサカルブ」及び②「ピリミノバックメチル」について調査審議し、①に関しては、評価書案を幹事会に報告することを決定

第13回 確認評価第一部会 1月25日（金）

- ・①「スルフェントラゾン」及び②「チアゾピル」について調査審議し、①及び②に関し、評価書案を幹事会に報告することを決定

第11回 確認評価第三部会 1月28日（月）※非公開

- ・①「イプロベンホス」及び②「パクロブトラゾール」について調査審議し、①に関しては、評価書案を幹事会に報告することを決定

(4) 動物用医薬品専門調査会

第4回 確認評価部会 1月29日(火)

- ・①「バルネムリン」及び②「リファキシミン」について調査審議し、①及び②に関し、評価書案を専門調査会に報告することを決定

第87回 1月29日(火)

- ・①「フルニキシメグルミンを有効成分とする牛の注射剤(フォーベツト50注射液)」及び②「ベンゾカイン」について調査審議し、①及び②に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第88回 1月29日(火) ※非公開

- ・①「鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフィムリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン」及び②「ミロサマイシンを有効成分とするみつばちの飼料添加剤(みつばち用アピテン)及びミロサマイシンを有効成分とする豚の注射剤(マイプラピン注100)」について調査審議し、①に関しては、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 化学物質・汚染物質専門調査会

第2回 幹事会 1月16日(水)

- ・食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について調査審議し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(6) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第56回 1月21日(月) ※非公開

- ・①「耐熱性 α -アミラーゼ産生トウモロコシ3272系統(食品・飼料)」及び②「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統」について調査審議

(7) 新開発食品専門調査会

第50回 1月30日(水) ※非公開

- ・①「ヘルシアコーヒー 無糖ブラック」及び②「ヘルシアコーヒー マイルドミルク」について調査審議

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

1月26日(土) 泉大臣と語る食品の安全—国民の目線に立った食品安全行政を目指して— <群馬県前橋市>

- ・食品安全委員会の主催で開催し、見上彪食品安全委員会委員長から「新たな食品安全行政と食品安全委員会の取組」と題して講演を行い、続いて、泉内閣府特命担当大臣(食品安全)などをパネリストとして食品安全行政の課題や期待することについてパネルディスカッションを実施した後、会場参加者と意見交換を実施。

(2) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座

1月18日(金) <神奈川県横浜市>・食品安全委員会と神奈川県の共催で開催

- ・食品安全委員会事務局職員から「食品安全のためのリスク分析(食品のリスクとのつきあい方)」と題して講義を行った後、参加者がグループに分かれてゲーミングシミュレーションによるコミュニケーション能力を高めるための演習を実施

(3) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座

1月22日(火) <愛知県岡崎市>・食品安全委員会と岡崎市及び岡崎市食育推進会議の共催で開催

1月30日(水) <三重県津市>・食品安全委員会と三重県の共催で開催

- ・午前は、内閣府食品安全委員会事務局が制作した、リスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、神戸まちづくりワークショップ研究会代表世話人西修氏よりファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、参加者がファシリテーションの基本的なスキルのいくつか(傾聴など)について実習を実施。午後は、参加者がグループに分かれ、自己紹介でアイスブレイク(初対面の参加者同士の抵抗感をなくしコミュニケーション促進のために行うものであり、様々な手法がある)をした後、ワークショップのいくつかの手法を体験